

令和4年5月31日

狭山市長 様

特定非営利活動法人さやま協働ネット
代表理事 土田 博

さやま市民大学事業運営業務を令和3年4月1日より委託業務として受託し令和4年3月31日に業務が完了しましたので、次のとおり年次報告書を提出します。

<市民大学講座について>

令和3年度の市民大学事業は4月開講を目指し準備をしていましたが、新型コロナウイルス感染の状況、公共施設の一部利用制限を受けて、4月開講を見送り新型コロナのワクチン接種状況を見て10月開講に決定しました。

令和3年6月7日の第2回運営委員会で市の市民大学開講方針で講座はオンラインで実施する旨が示されました。

募集に関しては8月の広報にさやま市民大学受講生募集の記事を掲載し8月17日(火)から受付を開始しました。募集の冊子は各公共施設等に配布依頼し、市のホームページやさやまマルシェの市民大学のホームページにも記事を掲載しました。

なお、令和2年度を受講希望者には募集冊子を郵送する等のPRに努め、募集締め切りは9月17日(金)であり応募状況は次のとおりでありました。

講座名 (自主講座)	応募人数 (人)
狭山の民話語り部養成講座	11
話したくなる さやまのトリセツ講座	11
西武文理大学連携 実践に役立つ健康づくり講座	10
早稲田大学連携 健やかいきがい講座	8
狭山の歴史講座	6
人生100年時代のナイスエイジング講座	15
講座名 (協賛講座)	応募人数 (人)
さやまっ子の学習支援員養成講座	7

9月21日(火)開催の運営委員会で市から開校の目安となる、講座開講には定員60%以上が基準であるが市の方針は今回のオンラインの講座は初めての試みのため講座の開講が大事であり、60%を割っても市民大学側が講座を受託するなら開講をお願いしたい意向に沿い運営委員会での協議の結果早稲田大学連携健やかいきがい講座を除く5講座について開講を決定しました。(協賛講座は主催する団体が決定する)

<公開講座について>

市民大学講座のPRを兼ねて例年公開講座を開講している。コロナ禍の状況であるためオンラインで実施することになる。

① 第1回 令和4年1月28日(金) 14:00~15:45

「活力ある狭山に向けたSDGsの取り組みと住民参加」

- ・藤野洋氏(西武文理大学教授) コーディネータ、基調講演「SDGsとは？」
- ・安永康枝氏(フードバンクさやま代表) 「『もったいない』をありがとうに」
- ・坂本光雄氏(みのり福社会理事長) 「誰もが共生できる社会を目指して」
- ・中田晃氏(水菜農家) 「地場を活用した肥料で作る地元野菜！」
- ・司会進行、開会・閉会挨拶:土田博代表
- ・記録:草野(録画機能は使用せず)
- ・支援スタッフ:三保谷・鈴木(受講生管理、PJ)、弘松(カメラ)、川口(共有機能)
- ・サテライト会場:大会議室
- ・受講生:22人

② 第2回 令和4年2月25日(金) 14:00~15:45

「市民活動を楽しもう~小江戸川越のまちづくり」

- ・講師:藤井美登利氏(埼玉共助仕掛人など)
- ・司会進行:川口
- ・記録:草野(録画機能は使用せず)

- ・支援スタッフ：鈴木
- ・サテライト会場：PC ルーム
- ・受講生：17人、取材1人

③ 第3回 令和4年3月18日（金）14:00～15:30

「郷土の偉人に学ぶ 武蔵・武州の風土と文化」

- ・講師：大野松茂氏（元狭山市長）
- ・司会進行：川口
- ・開会・閉会挨拶：小山学長
- ・記録：草野（録画機能は使用せず）
- ・支援スタッフ：鈴木
- ・サテライト会場：PC ルーム
- ・受講生：申込29人

<市民大学事業に係わる会議について>

① 運営委員会

さやま市民大学の運営方針について審議するとともに、講座の開設をはじめとして、さやま市民大学が実施する事業の企画と運営にあたる委員会です。

委員会開催数 10回

② 講座企画委員会

さやま市民大学の講座の方針に企画を審議する

委員会の開催数 8回

③ リーダ会議

各講座のリーダによる会議

会議の開催数 4回

④ その他の会議等

他に広報委員会、地域連携業務委員会があるが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響で開催はしていない。

<学校行事について>

新型コロナウイルスの感染拡大防止の関係上、入学式、体育祭、学園祭、
は実施しなかった。